



2018.11.18 七五三

「今日ダビデの町で、あなたがたのために救
い主がお生まれになった」
助任司祭 ジョセフ・アルバート

羊飼いたちが夜、羊の群れの番をしていると輝かしい御使がさらに輝かしい知らせを携えて現れました。「きょうダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。」(ルカ2・11)。これらの羊飼いたちは主イエス・キリストの最初の証人となりました。クリスマスとは、私たちのために救い主がお生まれになったということなのです。それがイエス様です。そしてそれは、神様が私たち一人一人にお与えになった大きな喜びであり、素晴らしいプレゼントだったのです。なぜかと言うと、イエス様は、神様の独り子です。つまり、神様は、御自分の一番大切な、愛する、たった一人のお子さんを私たちに与えて下さったからです。そのたった一人のお子さんを明るい天の国から暗い地上に送り出したのです。こんな素晴らしいプレゼントは他にはありません。神様が私達にプレゼントをしてくださったことを記念するために、クリスマスの日にはみんながお互いにプレゼントをする習慣が生まれたのではないかと思います。これは神様がこの日に、私たちに一番良いものをプレゼントして下さいましたから、神様の愛に感謝して、お互いにプレゼントをしています。羊飼いたちに「あなたがたのために救い主がお生まれになった」と告げました。ここには、「あなた方のため」に書いてあります。この「あなた方のため」

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

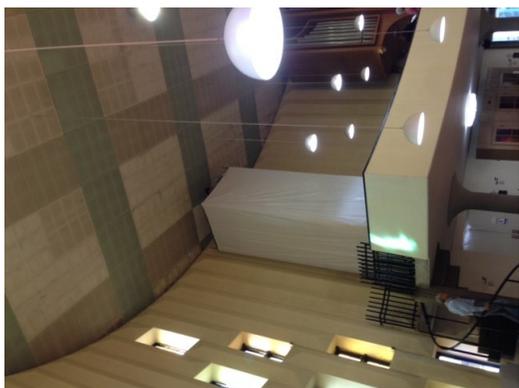
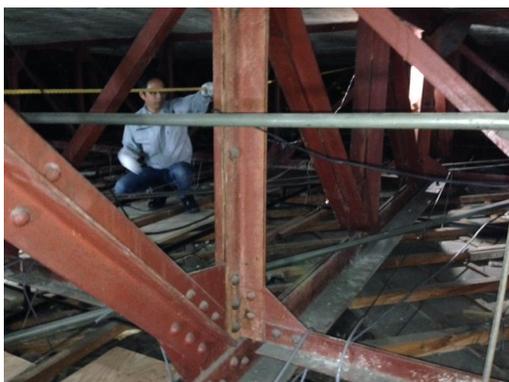
主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

めに」というのは、その時ベツレヘムの野原にいた羊飼いたちのことだけではありません。「民全体に与えられる大きな喜びを告げる」と書いてありますが、決して今から2千年前に生きていた人たちのことだけでもありません。全ての人のためなのです。だからイエス様は、今日生きている私たちのためにも、神様が送って下さった、一番良いプレゼントになります。そしてそんなプレゼントを私達に与えたのは、神様の愛を私たちに与えるためでした。私たち人間に一番必要なものは、何と言っても、自分が神様から愛されているということなのです。この神の愛を知らない私たちにはあの天の明るさと喜びの世界を永遠に知ることが出来ません。神様から愛されていることを知って私たちは本当に明るい、平安な、そして、正しい心で生きることが出来るようになるのです。「今日、私達の町で、わたし

たちのために救い主がお生まれになった」というメッセージでわたしたちも羊飼いたちのように主イエス・キリストの証人となるよう勧められています。私達みんないつでも、どんな所においてもキリストの証人となり、キリストを証する務めがあるのではないかと思えます。

大聖堂天井補強工事



バザー委員会だより

10月28日、晴れ渡る空の下でバザーが開催されました。

今回は全てマリア館ホールで開催する初の試みでしたが、皆様いかがでしたでしょうか？

ホールなどマリア館全体が賑やかなムードに包まれていて、たくさんの方々の笑顔を見ることができたと思っています。

バザーの収益のうち、今年度は福信館に10万円を寄付することにしました。

収益の詳細については、この月報に別表でご案内いたします。

皆様のおかげで、怪我の報告などはなく無事に1日を終えることができました。

本当にありがとうございました。神に感謝。

2018年バザー実行委員長

成井元太

教区の皆さま

教区司教 ミカエル松浦悟郎

第40回 日本カトリック正義と平和全国集会・名古屋大会を終えて

+ 主の平和

今年も12月に入り、教会も待降節を迎え、それぞれの場で主の降誕の準備に入られることと思います。

さて、先日行われた表記「大会」では、教区の皆さまに全面的に協力、参加していただき心から感謝します。お陰さまで、初日のシンポジウムだけでも大聖堂があふれるほどの参加者が集まり、また、その内容も考えさせられるとても良い大会となりました。翌日の分科会についても人数や内容などの詳しい報告はまだですが、特に他教区から来られた人々は、異口同音に内容が充実し、もてなしもすばらしい大会だったと感想を述べていました。

主たる会場となった布池教会、また、分科会では、それぞれの小教区やセンターで準備し参加者を受け入れていただきました。いくつかの小教区では、単に受け入れるだけでなく、そのテーマについて事前に勉強したとの報告を受けています。

今大会には、北陸ブロックからも、貸し切りバス二台だけでなく、個人的にも何人も参加していただきました。また、青年たちが懇親会、分科会、典礼などで大活躍してくれました。このように、教区が一つになって、大会で取り上げられたさまざまな問題に目を向け、教会として、また一人の信仰者としてどのような「選びと決意」が必要かを考えられたことは、大きな一歩につながったと感じています。

この大会では、今までとは違って（一部を除いて）基本的には事前申し込みも参加費も不要な自由参加の形式にしました。できるだけ多くの方が参加しやすい環境を作ろうと思ったからです。それゆえ準備する側にさまざまな苦労もあったかと思いますが、参加者には大変好評でした。また、教区内外から多くの寄付をいただき、運営を支えることができました。ここに改めてお礼申し上げます。

後日、シンポジウムのDVDや報告書が出される予定ですが、またそれらを活用して課題を深めていただければと思います。

これから始まる待降節の期間を通して、私たちが「地球家族」の平和を願い、すべての人が共に喜びのうちに主の降誕を迎えられるよう祈りましょう。

感謝のうちに

典礼一口メモ く香部屋の窓から
第十四回 聖櫃の話
典礼委員長 新内飛鳥

聖櫃(せいひつ)、ご聖体が保管されている聖なる櫃(ひつ)です。南山教会の場合、正面の十字架の足元に金色の箱がありミサ中に引き戸が開きま

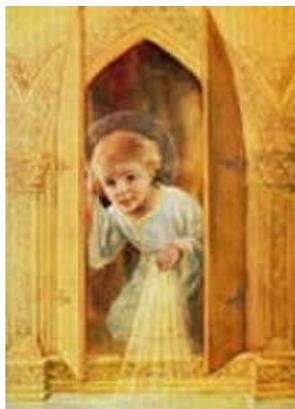
す。奉納され感謝の祭儀で聖別されたご聖体と聖櫃の中に納まっているご聖体を聖体拝領で奉仕する司祭4名で信者に配ります。
ご聖体と呼んでいます。ホスチアとも呼ばれます。ホスチア(Hostia)「いけにえの供え物」と言う意味です。なので昔はご聖体(ホスチア)と御血(ぶどう酒)の両方をホスチアと呼んでいた時代もあるそうです。ホスチアは水と小麦粉だけで作られ、イースト菌が入っていない「種なしパン」で、聖別されてキリストの御体、つまり生贄となります。キリストの尊い御身体を納めるので聖なる櫃(ひつ)かぶせ蓋がついた箱)と呼んでいます。
体を入れる箱で連想し「ひつ・ぎ」と呼ぶので櫃や棺と

の関連を調べてみると、無関係でもないことが解りました。櫃は用途によって米櫃・飯櫃(おひつ)・茶櫃・長櫃・炭櫃・聖櫃・長持などなど種類がありますが、これらは日本国内で使われてきた倭櫃(やまとびつ)に属しますが、唐櫃(からびつ)と呼ばれるものがあり、これは宝物・衣服・文書・武具などの内容を湿気から守るために用いられてきた4本ないし6本の足の櫃です。恐らく唐の文化との融合でしょう。棺を唐櫃と呼ぶこともあったようですが、それは屍櫃(なきがらびつ) ↓ からびつ)と転じたようです。棺と櫃の使い分けにはそれほど厳密な差はないようですが、遺体を納める前を棺、遺体を納めた後を櫃と呼ぶ説があります。よく耳にした説で出棺を境に呼び分けるとする話もあります。なるほど出棺した棺を運ぶ車を霊柩車と呼ぶのはそういう理由なのかと納得しました。

脱線してしまいましたが、この聖櫃も聖堂とは切っても切れない密接な関係があります。ただし、条件ではありません。小聖堂などには聖櫃がないこともあります。聖櫃の設置には教区司教の許可が必要です。小聖堂を持たない教会もありますが、たいていの教会には小聖堂があつて平日のミサなど人数が少ない時には小聖堂を使う習慣が一般的です。たいていは大聖堂の近くに隣接していたり大聖堂の一部分だったりしますが神言神学院のように小聖堂が地下にある場合もあります。地下聖堂はカタコンベ(地下墓所)をイメージしやすいですね。関連する豆知識ですが2回前に紹介したことです。が、伴奏なしで歌を歌うことをアカペラと言います。この語源がまさに小聖堂(a chapel - 小)イタリア語です。原始キリスト教では現在のような大きな聖堂に集まるのではなくカタコンベなどにひっそりと集まっていました。そこには

楽器などもなくカントーレの先唱句に続いて伴奏なしで歌うことが当たり前だったので。グレゴリアン・チャントなどでも伴奏のつかないことがありますからイメージしやすいと思います。さておき、南山教会の場合は大聖堂の中央正面に聖櫃がしつらえてあります。若干脇に据えてある聖堂もあれば小聖堂に据えてある教会もあります。両方に聖櫃がある場合もあります。総則では、内陣内の祭儀を行う祭壇から離れたところにより相応しい形と場所を選ぶ、ただし、もはや祭儀を行わない古い祭壇に置く分には構わないとあります。あるいは小聖堂、礼拝堂と有機的につながった信者の目に留まる場所、と定めています。また聖体の保管された聖櫃の近くには油もしくはろうそくを燃料とした特別なランプが灯されなければならぬとされています。聖櫃の傍で常時灯っている赤ランプのことです。キリストの現存を示すため

す。そういう理由で一年に一度、聖櫃が空になる聖金曜日には通称聖体ランプの灯りを落としてあるのです。巡礼などで訪れた聖堂で聖櫃の近くに聖体ランプが灯っていればその聖堂が現在使われていることが推察できます。学生の頃に合宿で泊めていただいた教会が、すでに役目を終えた巡回教会の建物でした。聖堂と信者会館の区別もなく建物は一つだけで堂内には祭壇もなく聖櫃もありませんでしたが名残と空気を感ずることはできました。ミサや礼拝の間と関係なく聖堂を訪れ、聖櫃の中のイエス様と時間を過ごすことを聖体訪問と言います。ランプが灯っていると現在の現存を感じ安心する事が出来ず。豊かな時間を過ごす事が出来ず。聖櫃は単にご聖体を保管するためだけの存在ではないのです。私たちに豊かな実りの時を与えてくれます。



2018年度南山教会ヨセフ館納骨堂追悼ミサとオープンハウス

2018年11月4日(日)

納骨堂管理委員会 神戸六郎

ヨセフ館納骨堂の追悼ミサとオープンハウスは、今年で5回目を迎えました。

本日は、生憎の雨天にもかかわらず、納骨堂に入っていらっしゃる皆様のご遺族の方、関係者の方々と約300名ほどの参加者がありました。

ごミサは、新立神父様の司式で、今年死者の日の典礼にて行われました。通常の主日のごミサとは異なり、追悼ミサにはよく合せて素晴らしいものと感じました。

オープンハウスも、ごミサ前後で沢山の方々に訪ねていただき、故人を偲びながら、納骨堂のお近

くの方々ととのコミュニケーションももあり、暗い雰囲気ではなく、楽しい分ち合いであったと思います。

ヨセフ館納骨堂は、5年目を迎え、その納骨櫃への収納率は、全体で約50%〜70%程度となっております。今後の収納の数により増設も考えていかなければならない時期が来ることも考えていかなければなりません。

毎年恒例となりましたこの追悼ミサとオープンハウスは、典礼の皆様さん、聖歌隊、マリア会、ヨセフ会等々、皆様の協力の上に成り立っております。ありがとうございます。



12月2日
司祭団より

宣教地召命促進の日にあたり、南山教会の中からの司祭・修道者の召命、特に神言会の召命のためにお祈り下さい。

インドでのサイクロンの被害について、決して小さくない被害です。集まったお金は、神言会宣教事務局の口座を通して送金します。ご協力のほどお願いします。

報告・連絡事項

1. クリスマスパールティーの準備について

(ヨセフ会、マリア会、運営委員長) 11月3週間後になりました。それぞれ準備されている状況を確認したいと思います。

ヨセフ会…駐車場の警備を外注に依頼するのが初めてです。監督する立場の人をヨセフ会から2人だします。パールティーの会場の設置を昨年と同様に行います。マリア会…パールティーに関して

は、寄付いただく料理の内容が直告です。前に決まり次第、具体的に計画をします。事務所と連携して準備をします。

運営委員長…お手伝いいただく方も含め南山の一般信徒はできるだけ男子部の駐車場に停めてください。

2. 11月4日 納骨堂追悼ミサとオープンハウスについて

(納骨堂管理委員会など)

実施された内容の報告です。

5回目でした。雨天で少し少なかったのですが、ミサにはおおよそ300名の方が参加されました。

ミサの前後でオープンハウスを行いました。良い雰囲気です。それぞれのお話が盛り上がりました。現在70%ほど契約済みですので、増設も視野にいれています。

3. プロジェクターの購入について (要約筆記の会)

11月の運営委員会で承認されたプロジェクターの購入に関しての報

4. 11月23日〜24日正義と平和全国集会名古屋大会について

(出席者、主任司祭ほか)

関係された皆様、お疲れ様でした。気づかれたことをご報告ください。

主任司祭より、南山教会を会場に行われた「低線量被ばくと福島からの声」について、60名程の方がご参加されました。実際に住んでいる方がどのような生活をしているか、生の声を聞くことができました。ご協力くださった皆様、ありがとうございます。

司教様より感謝のFAXが届いております。聖堂の掲示板に掲示しておきます。

参加者より、23日にボランティアで参加しました。司教様よりお言葉を頂きました。東北から大勢の方がいらっしやいました。全体

的にすぐくスムーズに事が進みました。社会委員からの連絡等を、南山教会のみでなく他の教会も内題が残っていると思えました。

社会委員をマリア会の会長が兼務するのは少し大変かと思えます。

5. 1月6日「排除ゼロキャンペン」リレー写真展について

(カリタス福祉委員会、新立師)

名古屋教区カリタス福祉委員会を通して、カリタスジャパンによる「リレー写真展」への協力がありました。外国人移住者への理解を深める活動です。南山教会では1月6日(日)9時〜13時にマリ

ア館1階で行われます。詳しくは配布資料に記載されています。また、お知らせにてご案内します。

6. 大聖堂天井補強工事について (大規模補修プロジェクトチーム)

11月22日に工事終了しました。その報告です。

11月に大聖堂天井の大規模修繕工事が完了いたしました。皆様に

は、大変なご協力とご不便をおかけいたしましたので、改めて御礼申し上げます。

本工事により、東日本大震災等で散見された、重量のある天井のまるごと崩落するような重大リスクを大幅に軽減することができました。工事は、スペースがない非常に困難なもので、大住一級建築士、工事業者の方にも改めて御礼いたします。今後も、カトリック会館、鐘楼等の対策のため、引き続き、皆様にご協力を賜りたくお力添えいただきたいと考えております。

天井の補強工事が完了しましたので、次はカトリック会館の件を進めます。まずは、試験的に1月から一定期間マリア館の集会室等で行っていることを他の場所で行えるか運営を試みてみます。大規模修繕の積立金もありますので上手く活用していきましょう。

7. 次年度各会予算提出について
(財務委員長)

12月25日までに来年度の予算に

ていきます。保健所からの指導などもあり食べ物に関してはマリア館の中がふさわしいです。

8. 社会委員より、3.11追悼と復興を祈る集い 実行委員募集について
(社会委員)

昨年実施された集いを踏襲す
来年の実行委員募集のご案内
添付資料のとおり、布池教会に
各他宗教の方を招いて復興を祈る
集いを12月15日(土) 10時~12時
に行います。社会委員以外の方も
広く実行委員を募集しております。
希望の方は新立神父様にお伝え
ください。

2. 年末年始ミサの確認
(主任司祭、典礼委員会)

時間や内容の確認を行います。
先月の運営委員会で確認して
おります。

12月24日 夜半のミサ 16時 20時
1月1日 10時 神の母マリアを
祝うミサ、このミサの中で新成人
のための祝福があります。

25日 日中のミサ 10時 19時
31日 旧年感謝のミサ 10時
23時 聖体礼拝 ※祈り
11月9日の研修旅行でカトリック
安城教会、西尾市歴史公園(旧近
衛邸)、抹茶ミュージアムへ行きま
す。

12月14日(金) 11時から集会室
古屋港水族館 中高生4名 アル
バート神父様 リーダー2名 合
計7名

2019年1月6日 始業式
次回は1月6日

典礼委員会

11月17日 望月裕央氏を講師に招き、発声練習法を学びました。

12月24日 夜半のミサ 16時 20時

25日 日中のミサ 10時 19時

31日 旧年感謝のミサ 10時

23時 聖体礼拝 ※祈り

1月1日 10時 神の母マリアを

祝うミサ、このミサの中で新成人

のための祝福があります。

マリア会

11月9日の研修旅行でカトリック

安城教会、西尾市歴史公園(旧近

衛邸)、抹茶ミュージアムへ行きま

す。

ボクダン神父様、それにア

ントニー神父様にもお目にかかる

ことができ、楽しい旅行となりま

した。

中高生会

11月17日 中高生会の遠足 名

中高生4名 アル

バート神父様 リーダー2名 合

計7名

2019年1月6日 始業式

次回は1月6日

(財務委員長)

最終数値の報告と承認確認をい

たします。

添付資料のとおり、収入は約101

万円、純利益は約78万円のプラス

でした。来年は中庭を使う案もあ

りますのでバザー委員会で検討し

審議・相談事項

1. バザーの収支最終報告

(財務委員長)

最終数値の報告と承認確認をい

たします。

添付資料のとおり、収入は約101

万円、純利益は約78万円のプラス

でした。来年は中庭を使う案もあ

りますのでバザー委員会で検討し

ださい。

◎各会報告

12月14日(金) 11時から集会室 古屋港水族館 中高生4名 アル

バート神父様 リーダー2名 合計7名

2019年1月6日 始業式

次回は1月6日

南山句会

平成三十年十一月十八日



冬初め鐘の音澄みし石畳
紅葉の光に透ける散歩道

令子

玄関で佇立て見るやカレンダー
調べ終え図書館前の寒月光

泰信

おでん煮て友を待つ夜の静寂かな
ハロウィンやエアロビクスも仮装して

惇子

啼く仔猫秋の日浴びて児ら抱く
釣瓶落し思ひ静かに月仰ぐ

美智子

鈴鹿峰の夕日に散歩冬に入る
冬麗ら笑み満面の修道女

せつ子

剣岳雲振り切って冬近し
暮れていくほどに真白き貴船菊

眞喜子

柿二本日々色づきてミサの朝
夕暮れのテニスコートや枯葉舞ふ

とく子

友帰り汁粉残りてやや●し
日没の紅葉の強し明日を見て

一藤

山眠る温泉郷の古看板
小春日の水面にゆれるクルスカn

豊子

毎月第三日曜日九時半ミサ後

マリア館一階集会室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

11/6 マリア・アガタ 川口 和美

転出

いつまでもお元気で

パウロ 武保 学 (上野教会)

帰天

神の栄光にあずかれますように

11/1 ルカ・マリア 黒田 光 (69歳)

11/14 マリア・マグダレナ 谷 道子 (92歳)

教会維持費

11月は972,000円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

2018年12月・2019年1月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
12月	2(日)待降節第一主日(B年) 8(土)無原罪の聖マリア 25(火)主の降誕 30(日)聖家族	8(土)9(日)共同回心式 24(月)主の降誕の前夜ミサ 16:00,20:00(日英合同),24:00 21:30クリスマスパーティ 25(火)主の降誕ミサ (10:00;19:00) 31(月)10:00旧年感謝ミサ 23:00聖体礼拝	2(日)11:00運営委員会 7(金)マリア会例会(懇談会) 9(日)教会周辺清掃 9(日)典礼委員会・ヨセフ会班 長会 9(日)中高生会終業式 15(土)子ども部屋クリスマス会 22(土)要約筆記付きミサ 23(日)教会学校クリスマス会	2(日)城東ブロック会議(南山) 2(日)宣教地召命促進の日(献金)
1月	1(火)神の母聖マリア・世界平和祈願日 6(日)主の公現 13(月)主の洗礼	1(火)10:00新年平和ミサ・成人式 管区に予算書提出	6(日)11:00運営委員会 6(日)教会学校・中高生会始業式 11(金)マリア会新年会 13(日)教会周辺清掃・典礼委員会 19(土)10:30子ども部屋 20(日)ヨセフ会新年会・班長会 26(土)要約筆記付きミサ	1(月)世界平和の日 キリスト教一致祈祷週間 20(日)新成人を祝う 新年の集い 27(日)世界子ども助け合いの日献金